

取扱説明書

工事店様へ 施工後は、この取扱説明書をお客様へお渡しください。

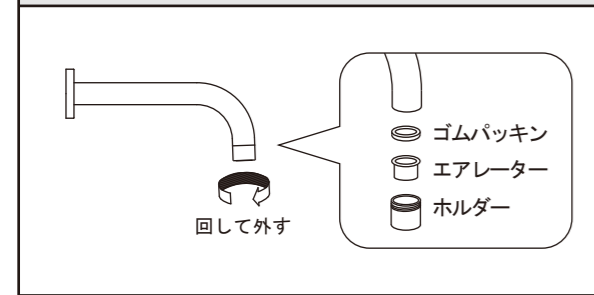
お客様へ この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

修理を依頼される前に

異常を感じたら修理を依頼される前に下記の事項をご確認ください。
次の事項をご確認をされても直らない場合は、取付工事店または弊社までご相談ください。

現象	確認して頂くところ	処置
吐水口の流量が少ない	<input type="checkbox"/> 口先金具の中にゴミが溜まっていないか <input type="checkbox"/> 湯側・水側ともに止水栓が十分開いているか	A —
温度調節がうまくいかない	<input type="checkbox"/> 口先金具の中にゴミが溜まっていないか <input type="checkbox"/> 湯側・水側ともに止水栓が十分開いているか	A —
吐水時に音が鳴る	<input type="checkbox"/> 湯側・水側の止水栓を適度な位置に調節する	—

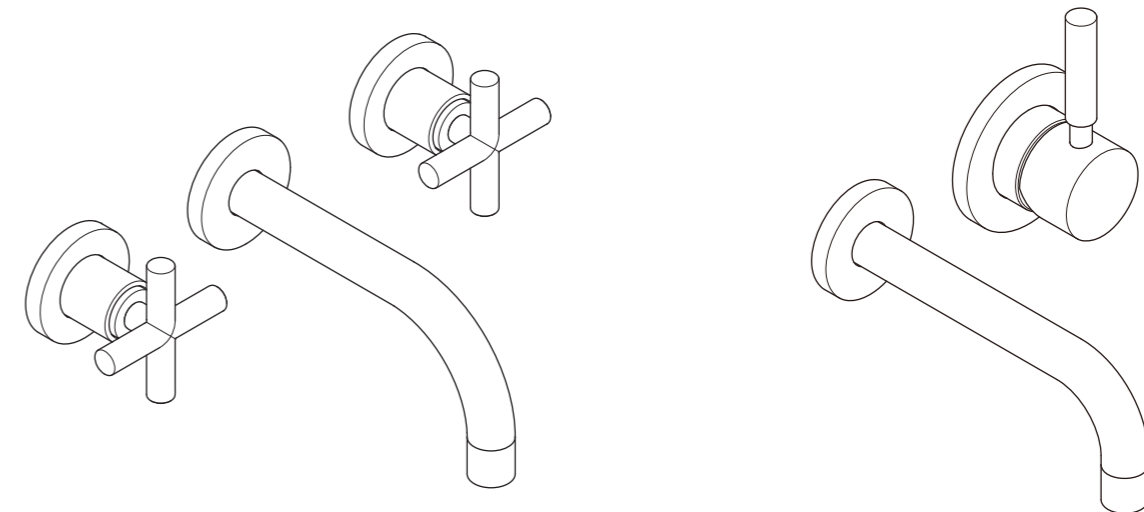
処置A：吐水口先端の部品を洗浄する



お手入れ方法

いつまでもご愛用いただくために、日頃のお手入れは次のことに注意してください。

- ご使用後は、本体に水滴が残らないようからぶきしてください。
 - ・汚れが目立つときは適度に薄めた中性洗剤を使用してふき取り、洗剤が残らないように水洗い(または水ぶき)してください。
- 水栓の表面を傷つけるおそれがある次のものは使用しないでください。
 - ・磨き粉等の粒子を含んだ洗剤（研磨剤入り洗剤）
 - ・シンナー、ベンジン等の溶剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシ等



製造

DORN
BRACHT

ドンブラハ社
(ドイツ)

販売

株式会社 **リライズ**





〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-6-3
TEL : 03-5909-0502~4
FAX : 03-5909-0518

2017.07











安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果(傷害・物損)を生む事柄です。安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

用語および記号の説明

- | | | | |
|---|---|---|-------------------------------|
|  | 「注意してください!」上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。 |  | 「指示通りにしてください!」(一般的な行動指示記号です。) |
|  | 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。) |  | 「指示した場所に触れてはいけません!」 |
- 注意 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか物的損害が発生する危険な状態が想定されます。

使用上の注意事項

 注意	
	高温の湯をお使いの時には吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
	高温の湯をお使いの後は器具内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	湯を止める時は必ず湯側のハンドルから閉めてください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	湯をお使いになる時は、必ず水側から開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。
	本製品と同時に他の水栓器具を使用する場合は、水圧変化により高温のお湯が出る場合があります。やけどをするおそれがありますのでご注意ください。
	急激なハンドル操作は配管からの漏水を起こすことがありますのでゆっくり操作してください。漏水で家財などをぬらし財産損害発生のおそれがあります。
	本体のメッキに剥がれなどの損傷が無いことを確認してください。腐食や経年劣化、磨耗により、メッキに割れや剥がれが発生することがあります。
	メッキに剥がれや損傷がある場合は、範囲や程度に関わらず速やかに交換してください。ケガをするおそれがあります。
	強い力を加えたり、衝撃を与えないでください。ケガをしたり、製品が破損し漏水を引き起こす可能性があります。

操作方法

